やすぎ市議会だより

vol. 88
2026.10



9月定例会議特集

- 令和7年度決算審査
- 一般質問

委員会視察報告

議会公式SNS
フォローよろしくお願いします

Instagram

X(旧Twitter)

編集・発行：安来市議会広報広聴委員会
TEL：23－3125/FAX：23－3153

表紙写真：母里夏祭り　撮影：小松原　直樹 議員

第104回安来市議会定例会7月緊急会議（令和8年7月13日）

７月緊急会議では、議決案３件の審議を行い、全て原案どおり可決いたしました。

■全会一致で可決、認定等した議案

提出者	番　号	件　　名
市長	議第80号	財産の取得について
	議第81号	財産の取得について

提出者	番　号	件　　名
市長	議第82号	工事請負契約の締結について

第104回安来市議会定例会9月定例会議（令和8年9月1日~18日）

9月定例会議では、条例案5件、予算案6件、その他の議決案7件、諮問（しもん）案1件の合計19件の審議を行い、議第87号については反対討論が行われましたが、全て原案どおり可決いたしました。加えて、報告6件を受けました。
また、令和7年度決算に関わる認定案11件を審議し、認第1号、認第2号、認第3号、認第4号については反対討論が行われましたが、11件全て認定いたしました。

■全会一致で可決、認定等した議案

予…予算決算委員会、 総…総務企画委員会、 文…文教福祉委員会、 地…地域振興委員会

提出者	番　号	件　　名	付託
市長	議第83号	安来市役所の位置を定める条例及び安来市支所及び出張所設置条例の一部を改正する条例制定について	総
	議第84号	安来市認可地縁団体印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例制定について	文
	議第85号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について	総
	議第86号	安来市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	総
	議第88号	地方独立行政法人安来市立病院中期目標の制定について	文
	議第89号	市道路線の認定について	地
	議第90号	市道路線の変更について	地
	議第91号	財産の取得について	総
	議第92号	工事請負契約の締結について	文
	議第93号	損害賠償の額を定めることについて	総
	議第94号	令和8年度安来市一般会計補正予算（第3号）	予
	議第95号	令和8年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第96号	令和8年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	予

提出者	番　号	件　　名	付託
市長	議第97号	令和8年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	予
	議第98号	令和8年度安来市水道事業会計補正予算（第1号）	予
	議第99号	令和8年度安来市下水道事業会計補正予算（第1号）	予
	議第100号	損害賠償の額を定めることについて	
	認第5号	令和7年度安来市電気事業特別会計決算の認定について	予
	認第6号	令和7年度母里財産区特別会計決算の認定について	予
	認第7号	令和7年度井尻財産区特別会計決算の認定について	予
	認第8号	令和7年度赤屋財産区特別会計決算の認定について	予
	認第9号	令和7年度安来市水道事業会計決算の認定について	予
	認第10号	令和7年度安来市下水道事業会計決算の認定について	予
	認第11号	令和7年度安来市病院事業会計決算の認定について	予
	諮第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	

市議会だよりについて
ご意見をお寄せください

市議会だよりのさらなる
充実をめざして、
読者アンケートを
実施します。

アンケート

議案等の資料はホームページにも掲載しています

右記二次元コードを
読み取って
ご覧ください。

7月緊急会議議案

9月定例会議議案



第105回安来市議会定例会開会会議は11月６日開会の予定です

■賛否の分かれた議案

賛成…○、 反対…×、 欠席…欠、 除斥…斥、 退席…退、 棄権…棄
付託欄＝予…予算決算委員会、 総…総務企画委員会、 文…文教福祉委員会、 地…地域振興委員会

提出者	番号	件名	付託	議席番号 / 議決結果	1 遠藤亘	2 小松原直樹	3 仲佐修一	4 植田真矢樹	5 内田卓実	6 湯浅正志	7 清水保生	8 福井加代子	9 岡本早智雄	10 原瀬清正	11 飯橋由久	12 岩崎勉	13 丸山征司	14 三島静夫	15 向田聡	16 佐々木厚子	17 石倉刻夷	18 永田巳好
市長	議第87号	安来市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	地	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	欠	○	×	○	欠	○
	認第1号	令和7年度安来市一般会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	×	○	欠	○
	認第2号	令和7年度安来市国民健康保険事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	×	○	欠	○
	認第3号	令和7年度安来市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	×	○	欠	○
	認第4号	令和7年度安来市介護保険事業特別会計決算の認定について	予	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		欠	○	×	○	欠	○

※議員定数18人　議長は採決に加わらない

■報告事項

提出者	番号	件名
市長	報第9号	令和7年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
	報第10号	安来市土地開発公社の経営状況説明書について
	報第11号	公益財団法人加納美術振興財団の経営状況説明書について

提出者	番号	件名
市長	報第12号	一般財団法人夢ランドしらさぎ振興事業団の経営状況説明書について
	報第13号	有限会社やすぎ千軒の経営状況説明書について
	報第14号	議会の委任による専決処分の報告について

予算決算委員会前期全体会（9月4日）

議第94号　令和8年度安来市一般会計補正予算（第3号）

○第3条　地方債

問　借入利率の上限を4％から9％に変更したことに関連して、直近の借入利率の状況を伺う。

答　政府系資金の過疎債では、7月が2.4％、8月が2.5％であり、毎月0.1％程度の上昇傾向にある。

○3款　民生費　夢ランドしらさぎ･ふれあいプラザ施設管理事業

問　夢ランドしらさぎ非常用放送設備取換修繕について、現状及び非常時の際の対応について伺う。

答　緊急自動放送音声出力の不具合の解消を図るものであり、それまでの間における非常時においては一般放送など職員により対応する。

○4款　衛生費　地域医療対策事業

問　井尻及び赤屋診療所で医療を提供する医療機関に対する補助金の内訳について伺う。

答　人件費、光熱水費、通信費など診療所の必要経費の不足分を大枠で措置したものである。

○7款　商工費　中小企業者等物価高騰対策省エネ支援事業

問　エネルギーコスト削減効果の高い設備の導入経費を支援するとあるが、その対象を伺う。

答　既存設備の更新が対象であり、新設する設備は対象外である。また、リース物件も対象外である。

○10款　教育費　発掘調査事業費

問　増額の理由を伺う。

答　独松山霊苑急傾斜地対策工事の設計変更に伴い、調査範囲が増えたことによるものである。

議第97号　令和8年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）

○歳入　6款　財産収入の介護納付費準備基金利子

問　基金運用の変更の理由を伺う。

答　特別会計においても一般会計同様、令和8年度から可能な範囲で、定期預金から債券に切り替えることで運用益確保を図ることとした。

安来市議会の最新情報はホームページから
https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/

9月定例会議

令和7年度決算審査

9月定例会議に上程された令和7年度一般会計、特別会計および企業会計の歳入歳出決算（合計11議案）は予算決算委員会に付託され、また、3つの分科会で慎重に審査を行いました。議決結果は11件とも認定されました。定例会議最終日の本会議における予算決算委員長報告の要旨を掲載します。

予算決算委員会審査

前期全体会（9月4日）

一般会計総括説明等を受け、次に令和7年度決算審査に際し、代表監査委員の意見をお聞きしました。委員からは数件の確認がありましたが、決算審査に影響する内容ではありませんでした。

総務企画分科会（9月5日）

認第1号　令和7年度安来市一般会計の認定について

2款　総務費　ふるさと寄附推進事業

質問　令和7年10月にポータルサイトのポイント付与が廃止となったが、影響があったのか伺う。

答弁　制度改正によるポイント付与廃止により、9月に駆け込みの寄附が多くあったが、それ以降は、ポイント付与がなくなったことにより前年と比べて減ったという印象は持っていない。

防災対策事業

自主防災組織への支援として防災士の資格取得費用等の補助を行っているが、資格を取得した方の活動状況を伺う。

答弁　自主防災組織の強化のための取得支援であり、自主的な活動に委ねていたが、安来市の中でも防災士の組織が作られたので、今後意見交換から始め、活動について協議を進めていきたい。

9款　消防費　非常備消防施設費・消防団車両等整備事業

質問　車両等整備事業で購入した小型動力ポンプ付軽積載車について、予算950万円に対し731万5千円と物価高騰の中、安価に収まった理由を伺う。

答弁　予算額に基づき設計して入札を行った結果、200万円程度、当初予算よりも安く納入できた。



小型動力ポンプ付き積載車

文教福祉分科会（9月9日・10日）

認第1号　令和7年度安来市一般会計の認定について

2款　総務費の広報等配布事業費

質問　広報等の配布は自治会経由で行われているが、自治会に加入していない市民には、どうやって配布しているのか伺う。

答弁　自治会への加入率は77パーセントで、未加入者のうち希望があれば郵送している。それ以外にも市の施設等には設置しているため、欲しい方はそこで受け取っていただいている。将来的には、米子市のような自治会向けのアプリケーションの使用を検討しており、現在、情報を収集しているところである。

4款　衛生費

妊娠出産包括支援事業費

質問　予算額が4，783万円に対し、決算額が2，940万円である。安来市ではいろいろな事業を実施していただいていることは認識しているが、予算額に対して決算額が少なくなっている理由を伺う。

答弁　令和7年度から始まった産後ケア事業・産前産後サポート事業については、希望する人が利用できないこ

令和7年度決算審査の一部を掲載しています

とが無いように、予算を大幅に確保していたが、結果的には利用者が少なかった。利用者からは利用できる回数を増やしてほしいとの声もあり、今後はそういった意見も参考にしながら利用者を増やしていきたい。

10款　教育費の学校図書館活性化事業費

質問　市内一社によりプロテリアルe文庫が整備・運用されているが、今後拡大・充実させていく考えがあるのか伺う。

答弁　プロテリアルe文庫導入以降、着実に利用実績も増えてきているが、紙の図書の良さもある。今後、それぞれの良さを活かしながら、読書推進活動に取り組んでいきたいと考えており、このまま続けていく考えである。



プロテリアルe文庫トップページ

認第2号　令和7年度国民健康保険事業特別会計決算の認定について

質問　令和6年度と比較して、国民健康保険税の滞納状況を伺う。

答弁　人数的には微減であるが、滞納の事由については変化があった。今後も、滞納者の預貯金等財産調査を行いながら、それぞれの状況に応じて対応をしていく。

地域振興分科会（9月9日）

認第1号　令和7年度安来市一般会計決算の認定について

6款　農林水産業費

農業水路等長寿命化・防災減災事業

質問　ため池の廃止事業について市の予算の持ち出しはあるのか伺う。

答弁　予算については国費で全額手当てする。令和12年度までの時限的な事業であり、毎年2~3カ所要望しているが、今後についてはまだ見込みが立っていない。

中山間地等直接支払交付金交付事業

質問　協定数、面積なども減っているが、現況について伺う。

答弁　高齢化もあり事務負担が多いというデメリットがある。市としては広域的な協定をしてもらえるようお願いしている。併せて、確定ではないが国の事業の見直しにより令和9年度から事務を簡素化するという動きもあるので、できるだけ多くの方に参加していただくように支援を続けている。


法面保護（のりめん）シートの取り付け作業

8款　土木費　交通安全施設整備事業・交通安全対策事業

質問　施設整備等の工期が学校の2学期以降の時期となっているが、事業の優先順位や実施時期について伺う。

答弁　計画的に優先順位をつけて事業実施しているが、緊急性や地域の要望等を踏まえて優先順位が変わる場合もある。工期については、カーブミラーを寄贈いただいている時期や、学校・関係機関等との調整を経て実施しているため、そういった時期での工期となる。

後期全体会（9月16日）

採決

認第5号、認第6号、認第7号、認第8号、認第9号、認第10号、認第11号の7件は全会一致で認定すべきものと決しました。

認第1号、認第2号、認第3号、認第4号の4件は賛成多数で認定すべきものと決しました。

※議案の詳細は2~3ページをご覧ください。



指摘事項並びに審査意見（予算決算委員会）

1. 予算執行と繰越財源について

令和7年度一般会計の繰越額の総額は13億5,221万円余と、近年事業数的にも増加傾向にある。計画的な予算執行と進捗管理を徹底し、事業の確実な年度内完了に努めるべきである。

2. 歳入確保と特別会計の滞納対策について

【市税・自主財源】自主財源の減少は前年度の基金整理に伴う影響にすぎず、実質的な市税は増額となっている。引き続き、収納率向上による確実な税収確保に努めるべきである。

【特別会計の滞納抑制】国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の各特別会計において保険料等の滞納が発生している。公平性の確保および行財政健全化の観点から、滞納金の抑制に強く努めるべきである。

【ふるさと寄附金】本市の魅力発信など、積極的なPRを通してさらなる増収に努めるべきである。

3. 歳出管理と大型事業における財源確保について

【財政運営】人件費等の義務的経費が増加する中、近年150億円前後で推移する標準財政規模に見合った堅実な財政運営を心がけるべきである。

【投資的経費と財源確保】今後は切川地区の開発、市立病院の地方独立行政法人化、小中学校の統廃合、各種公共施設の長寿命化など事業が山積している。財政負担を軽減するため、国県補助金や有利な地方債等の積極的な財源確保に努めるべきである。

【市債・基金の管理】市債の発行、基金の積み立て及び取り崩しについては、状況に応じた適切な対応を求める。

4. 財政指標と病院事業の動向について

【財政指標の留意点】地方債現在高比率は改善した一方、基金現在高比率は危険エリアとされる30%に近づいている。実質公債費比率や将来負担比率を含め、健全化の判断に直ちに問題はないが、今後も数値の変動に十分留意すべきである。

【病院事業の運営】資金不足比率が悪化しており、令和9年4月の地方独立行政法人への移行後においても、独立採算の原則に基づいた健全な運営に努めるとともに、地域医療の一層の推進を図るべきである。

5. おわりに

少子高齢化や人口減過疎化に歯止めがかからず、特に南部の中山間地域においてその傾向が顕著である。今後も厳しい状況が予想されるが、引き続き市民サービスの向上を目指し、均衡ある発展と、第三次安来市総合計画が掲げる「ワザを磨き、安らぎをつむぎ、シンカするまち」の実現を見据えた行財政運営に努めることを強く要望する。

第105回安来市議会定例会開会会議は11月6日開会の予定です

総務企画委員会（9月7日）

議第91号　財産の取得について

【概要】

安来市消防署に配備している化学消防ポンプ自動車1台を更新するもの。



化学消防ポンプ自動車（イメージ）

【主な審査内容】

問　化学消防ポンプ自動車を更新するとのことだが、納車後、現行の車両はどのように取り扱うのか伺う。

答　基本的に競売での売却と考えている。

議第93号　損害賠償の額を定めることについて

【概要】

上の台緑の村バーベキュー棟の屋根が強風により駐車場に停車中の相手方車両に直撃し、車体側面などの広範囲が破損した件の損害賠償額を定めるもの。

【主な審査内容】

問　市が所有する建物の屋根が暴風で吹き飛び、個人が所有する車両に損害を与えたとのことだが、建物に掛けられている保険について伺う。

答　市有物件の保険は掛けていなかった。車両の損害については、市が別に加入している全国市長会市民総合賠償補償保険から全額を賄う予定である。

文教福祉委員会（9月9日）

議第88号　地方独立行政法人安来市立病院中期目標の制定について

【概要】

地方独立行政法人安来市立病院の設立に向け、地方独立行政法人法第25条に規定されている中期目標を定めるもの。



安来市立病院

【主な審査内容】

問　経常収支100パーセントを目指すとのことであるが、現在の市からの「病院会計操出金」に該当する「運営費負担金」について、どのように考えているのか伺う

答　引き続き市立病院は不採算医療をはじめとする政策医療分野を担って行く必要がある。この部分に係る採算をとることが困難な経費については、国の基準に従い、市が設立団体として負担すべきものであると考えている。

【委員長意見】

「中期目標」は、市が地方独立行政法人安来市立病院に対し、達成すべき目標として示すものであり、市立病院は、この「中期目標」を達成するための取り組み内容や経営にかかる数値目標等を設定する、「中期計画（案）」を引き続き策定する必要がある。

市立病院からは、「この「中期目標」が達成できるよう、計画策定を進める。」との答弁があった。

なお、「中期計画（案）」の策定時期については、本年12月頃であるとの説明があった。

以上により、地方独立行政法人化後に市立病院が実際に行う医療提供や経営の計画の詳細は、今後「中期計画（案）」として示されるものであり、議会として、引き続き注視すべき重要な事項であると考えるものである。

安来市議会の最新情報はホームページから
https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/

地域振興委員会（9月11日）

議第87号 安来市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について

【概要】

市水道事業運営審議会の水道料金の改定等の答申を受け、水道料金の単価等の改正を行うもの。



安心・安全な水道供給体制

【主な審査内容】

問　今回の料金改定については、持続可能な水道供給体制を維持するために、覚悟を持って改定に踏み切るものなのか伺う。

答　10年ぶりの料金改定ということであるが、今後も適正な維持管理に努め、計画的に耐震化を進めていかなければならない。また、緊急的な施設の修繕等もある。持続可能な水道事業のためには、今回の改定は必ず必要なものだと思っている。

問　今回の改定は大口の利用者に特に大きな影響があるが審議会の中でどういう意見があったのか伺う。

答　審議会に大口の利用者代表も出席いただいていた。確かに値上げされることは厳しいが、例えば自分の工場近くの水道管等の耐震化が図れず、逆に破損して事業がストップするほうが困るので、今のうちに料金を上げて、きちんとした経営ができたほうがありがたいという意見があった。

議第89号 市道路線の認定について　議第90号 市道路線の変更について

【概要】

橋梁撤去（住吉15号線）・路線の再編（菅原7号線）に伴う路線認定と、住吉2号線ほか計9件の変更を行うもの。

【主な審査内容】

問　菅沢1号線について、使われなくなった部分を市道認定から外すということだが、市の財産を減らしていくという考え方の中で、使われない市の財産ができることについて考え方を伺う。

答　道路に限らず譲渡する考えはもっているが、希望がなければ市で管理する必要がある。基本的には民間に譲渡したい。

本定例会では議員12人が思いを問いました。

❶ 小松原直樹　議員
❷ 仲佐　修一　議員
❸ 岡本早智雄　議員
❹ 佐々木厚子　議員
❺ 内田　卓実　議員
❻ 原瀬　清正　議員
❼ 清水　保生　議員
❽ 福井加代子　議員
❾ 三島　静夫　議員
❿ 植田真矢樹　議員
⓫ 丸山　征司　議員
⓬ 向田　　聡　議員



第105回安来市議会定例会開会会議は11月6日開会の予定です

◆ 一般質問要旨 ◆



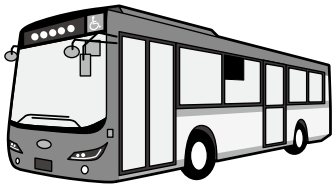
誠和クラブ
仲佐　修一

交通空白の解消

質問 「安来市地域公共交通利便増進計画」には、現行の公共交通を再編内容等が示されているところだが、その進捗状況等を伺う。

答弁 現在実施中の宇賀荘を除く交通空白8地区の解消を重点に取り組んでいく。大塚、吉田、能義、上山佐、奥田原、赤屋の6地区については、宇賀荘あいのりタクシーと同様のデマンド化の取り組みを導入することで、交通空白の解消を行いたい。

母里では、南部町方面への路線の検討や、学校統廃合に対応した路線の再編などを検討していく。西谷では、既に比田地区において実施している地域内交通の運行範囲を西谷地区まで拡大する予定である。



安来市立病院の地方独立行政法人化

質問 安来市立病院を地方独立行政法人化する大きな目的は、柔軟な給与体系を整備することにより医師確保につなげることとされているが、他の職種についてはどのような給与体系とし、現行の給与水準は確保される方向なのか伺う。

答弁 法人職員の給与体系については、勤務環境の急激な変化を避けるため、法人への移行時においては、基本的に現行の給与制度を維持する形で関連規程の整備を行う方針である。



市民クラブ
小松原　直樹

中学校部活動の地域展開における影響

質問 地域連携と地域展開の概要を伺う。また、学校部活動と地域クラブ活動の違いを伺う。

答弁 本方針では、学校部活動という枠組みは維持しつつ、複数学校での合同部活動の導入や、外部指導者を部活動指導員等として配置するという取り組みである「地域連携」と、学校部活動から地域クラブ活動という新たな活動に転換をしていくという「地域展開」の2つの軸で進めていく。

学校部活動と地域クラブ活動について、部活動は、学校教育の一環として主に教員が指導し、学校の施設や予算で運営されており、費用は実費等を除けば原則無料で、全校の生徒が対象。一方、地域クラブ活動は、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展させつつ、民間や地域団体が主導する学校教育外の活動である。実施主体の指導者が指導し、活動費用の受益者負担が発生することがほとんどで、他校の生徒と一緒に活動するケースが多くある。

質問 地域クラブ活動開始時の負担について伺う。

答弁 家庭の経済的負担のあり方や安全面への配慮が検討課題であり、生徒たちの参加機会の確保と応分の負担に基づく、地域クラブ活動の持続可能な運営を両立させる視点が必要であると認識している。



安来市議会の最新情報はホームページから
https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/

◆ 一般質問要旨 ◆



公明党
佐々木　厚子

英語教育の充実について

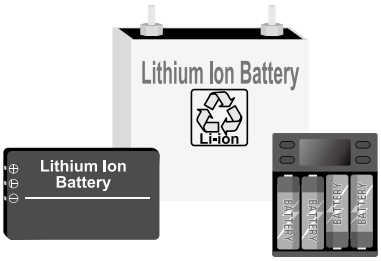
質問 今、小中学校で、児童生徒1人1台のタブレット端末を活用した外国人講師とのオンライン英会話授業を導入している学校が増えてきている。この授業により、発話量も増え英語が楽しい、もっと勉強したいとの声が多い。導入してはどうかと考えるが所見を伺う。

答弁 現時点では導入の予定はないが、生徒の英語への関心や自信を高めるなどのメリットがあると思う。調査、研究していく。

リチウムイオン電池等の処分について

質問 リチウムイオン電池等の処分方法がよく分からないという声がある。分かりやすく説明してほしい。

答弁 リチウムイオン電池等は「金属類」として分別収集し、排出方法は、電池容量を使い切りテープなどで端子を絶縁し小分け袋に入れ、指定の袋に入れるようお願いしている。引き続き、市報やSNS等を活用し、危険性や適正な排出方法を分かりやすく周知していく。



「非結核性抗酸菌症啓発週間」について

質問 「非結核性抗酸菌症」は人から人へ感染することのない病気であるが、結核と混同され、差別や偏見につながる恐れがある。今回「非結核性抗酸菌症啓発週間」が設置された。市民への周知をお願いしたい。

答弁 結核との違い等の正しい知識も含め、普及啓発を行っていく。



市民クラブ
岡本　早智雄

夏季の地震災害対応と今後の備えについて

質問 猛暑下において、体育館に冷房設備等がないために、避難所として利用が出来なかった箇所もあった。本市では学校適正配置が予定され、避難所としての学校体育館等が減少する可能性があるが、冷房設備のある避難所の確保、地域ごとの避難所の維持、学校適正配置と防災拠点の確保の両立について伺う。

また、夏季災害に特化した計画や備えについて、今後の方針を伺う。

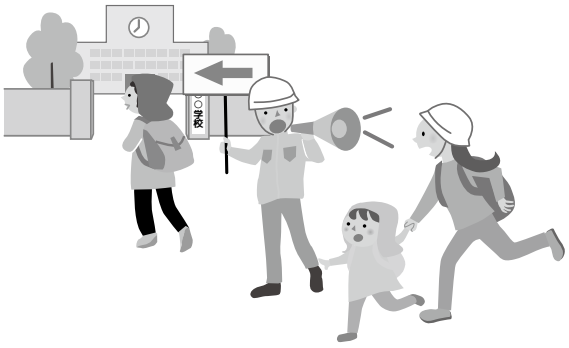
答弁 冷房機器のある避難所の確保については指定一般避難所が55カ所あり、併せて協定を締結している安来市仏教会所属のお寺などの民間施設が44カ所あるので協力をお願いする。

地域ごとの避難拠点維持について避難所として指定不可の施設が発生する場合があり、災害種別に応じた安全な避難所への避難をお願いする。

また、小中学校適正配置と防災拠点確保の両立は、地域の状況等を見定めたうえで避難所としての使用判断を行う必要がある。

防災拠点の維持については、避難所としての施設利用の可否や地域の実情を踏まえたうえで、必要な防災拠点を確保していく。

夏季災害に特化した計画や備えについて、車中泊関連も含め、高温による課題が浮き彫りになったので、新たな知見に基づき計画の見直しや強化を図っていく。



一般質問の一部を掲載しています

◆ 一般質問要旨 ◆



市民クラブ
原瀬　清正

公共施設のLED化は進んでいるの？

LED化の効果について

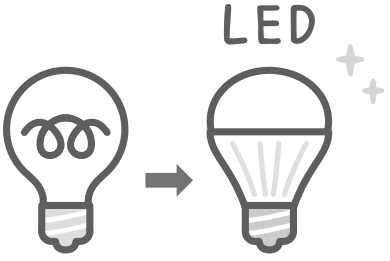
質問　市内に多数ある公共施設における照明のLED化の効果として、コスト削減、環境対応、安全性などについてどのように試算されているのか伺う。

答弁　地球温暖化対策推進に関する法律に基づき、策定した地球温暖化対策実行計画において二酸化炭素排出量を2030年度には2013年度と比べ13%以上削減すると目標を定めており、省エネにつながる照明のLED化は、この目標達成に一定の効果をもたらすものと考えているが、市全体の公共施設におけるLED化の効果についての金額的な試算は実施していない。

今後の改修計画について

質問　蛍光灯の供給停止が進む中、物価高騰や世界情勢等の影響による資機材の入荷遅れなども発生しており、前倒しでの更新が必要と考えるが、今後の改修計画を伺う。
※蛍光灯は2027年末で製造と輸出入が禁止となる。

答弁　安来市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）で「2030年度までに公共施設のLED照明導入割合を100%とする」目標を掲げている。今後は、公共施設等総合管理計画や小中学校の適正配置、公立幼児教育・保育施設検討事業などの各種計画、事業の進捗状況を踏まえ、優先順位を定めながら目標達成に向けて着実にLED化を推進していく。





政進クラブ
内田　卓実

特別天然記念物について

質問　特別天然記念物、天然記念物の扱い方について伺う。

答弁　国は文化財保護法に基づき、動物、植物及び地質鉱物のうち我が国にとって学術上価値の高いものを天然記念物として指定している。その中でも特に重要なものを特別天然記念物に指定している。天然記念物と特別天然記念物を保護するために、文化財保護法による規制が設けられている。捕獲や採取、飼育など人為的かつ物理的に変更を加えたり、または保存に影響を及ぼしたりする行為は原則として禁止されている。これらの行為を行う場合は、事前に文化庁長官の許可を受ける必要がある。許可なしに行った場合には、罰則が科されるほか、原状回復を命じられることがある。

天然記念物、特別天然記念物を見つけた際は、基本的に触らず、そのままそっと見守っていただきたい。負傷している、または死んでいる個体を見つけた場合は、速やかに市役所の文化課に連絡をお願いしたい。



能義平野に飛来したコウノトリ

◆ 一般質問要旨 ◆



政進クラブ
福井　加代子

切川バイパス周辺開発の現状について

質問 切川バイパス、その先の都市計画道路飯島線の現状を伺う。

答弁 切川バイパス（安来木次線切川2工区）は、JRアンダー取り付けのための擁壁工事施工中、地下水の影響により工事続行が困難となり、対策として地盤改良工事を進めている。この地盤改良工事が年内に完了する見込みで、その後、擁壁工事を再開するが開通時期を示す段階ではない。

また、旧道から国道9号までの都市計画道路飯島線は現在、電柱類を地中化する電線共同溝の管路工とアスファルト工を行っており令和9年度の供用開始を目指している。

質問 株式会社出雲村田製作所の工事が始まり、児童の登下校の安全対策も含め、現状と工事の予定を伺う。

答弁 6月下旬から残土搬入準備工事が始まり、現在は安来道路4車線化事業の工事で発生した土砂の搬入等を行っている。今後は外周道路工事、調整池工事、残土搬入管理工事が順次開始され12月頃から、予定地北側の造成工事が開始される予定。

また、児童の登下校の安全対策については工事車両の出入り付近に警備員を配置し、市道切川学校線に並行する仮設歩道も設置される予定である。

その他の質問事項

●市民の健康と命を守る対策について
●安来市の夏の行事について



切川バイパス周辺工事風景



誠和クラブ
清水　保生

どうなる？夢ランドしらさぎ

質問 施設譲渡に向けたプロポーザルで優先交渉権者に決定した株式会社アリオンとNPO法人SISアカデミーの事業実績について伺う。

答弁 前者は出雲市で「道の駅大社ご縁広場」を再興した実績があり、後者はスポーツ選手の育成事業を主軸としている。2者の共同事業体としては出雲市内で5か所の運動施設の指定管理者である。

質問 事業提案のなかで市として特に評価できるものは何か伺う。

答弁 リラックスルームの設置、地域の資源や産業を使った食事の提供や販売コーナーの充実、温泉と医療、スポーツ科学を融合した滞在型ウェルネス事業の実施による長時間滞在型施設にすることなど高く評価した。

質問 10年間の収支見込では現在の指定管理料4,000万円に代わる収入をどの事業分野で補う計画か伺う。

答弁 特に温泉に関連する事業において、リラックスルームの設置や、滞在型ウェルネス事業の実施により補う計画である。

質問 今後施設譲渡に向けた具体的な協議が整わない場合には現行の指定管理者制度を継続することも想定されるのか伺う。

答弁 最終的に整わなかった場合にはあらゆる手法について検討していく。

質問 事業の引継ぎに関しては市としても責任を持って関与していただきたいが所見を伺う。

答弁 責任を持って話し合いに参加していく。

一般質問の一部を掲載しています

◆ 一般質問要旨 ◆



志成会
植田　真矢樹

安来市立病院について

地方独立行政法人 安来市立病院評価委員会について

質問 委員数、開催回数、審議内容について伺う。

答弁 鳥取大学医学部附属病院高度救命救急センター長を委員長とし、5名の有識者により委員会を構成している。会議は現在まで2回開催しており、1回目は、会の運営要綱等の決定、スケジュール、中期目標（案）についての審議、2回目では、1回目の審議での意見をもとに整理した中期目標（案）の修正内容の審議を行い、承認をいただいた。

安来市医療提供体制基本構想策定の進捗状況について

質問 地元で医療を受けられなくなるのではないかとの声を市民から伺うことがある。方針の意義について、改めて市長の考えを伺う。

答弁 市立病院の常勤医は減少し、医療提供の継続が困難になる可能性があり、医療提供を持続するための重要施策として、地方独立行政法人化は、機動的で効率的な運営による医師の確保と経営改善を進め、市立病院が市民のための医療を持続するための基盤強化の取り組みである。

医療提供体制基本構想は、市内2病院の経営統合により、機能の最適化と限られた医療資源の効果的な活用を目指し、安心して医療を受け続けることのできる環境を整えるためのものである。





誠和クラブ
三島　静夫

ゼロカーボンへの取り組みについて

質問 「ゼロカーボンシティ宣言」を行った経緯と思いを伺う。

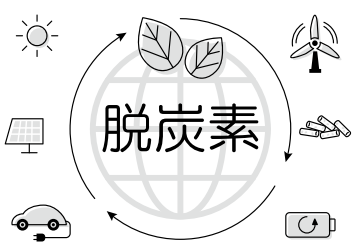
答弁 本宣言は、地球温暖化が喫緊の課題となっている現状を踏まえ、環境負荷の少ない持続可能な地域社会を次世代に引き継ぐという強い意志を示すものである。その実現のため、脱炭素社会の必要性を深く認識し、温暖化対策を積極的に推進していく決意を表明している。

質問 安来市再生可能エネルギー地産地消ビジョンの主となる考え方について伺う。

答弁 市は「地産地消ビジョン」を策定し、市内の再生可能エネルギーによる発電量を増加させることを目標として、市内の総電気使用量に占める再生可能エネルギーによる発電量の比率を、平成25年度時点の比率9.7%を、令和12年度までに16.5%まで引き上げることを目指している。

質問 再エネ発電量の6.8ポイント増達成のための取り組みについて伺う。

答弁 令和4年度から経済産業省の「エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金」を活用し、関連する調査・研究事業等を実施している。さらに、島根県からの補助金を一部財源として、「安来市再生可能エネルギー機器等設置費補助金」を設け、市民が再生可能エネルギー機器を設置する際の費用を補助し、市民の再生可能エネルギー利用を支援している。



◆ 一般質問要旨 ◆



日本共産党
向田　聡

激甚災害に対応する備えを

質問 避難所生活の在り方で、今「TKB48」という概念が注目を集めている。T：トイレ、K：キッチン、B：ベッド、48は災害関連死を引き起こさないために48時間以内にこれらの物を届けるということを意味している。市は、災害激甚化に対応するための「TKB」についてどこまで検討されているのかを伺う。

答弁 避難所での基本的人権を守り、人間らしい生活を守る「TKB」の考え方は有用な指標であり、本市における災害対応の参考となるものであるが、それのみにとらわれず、適切な避難所運営ができるよう、避難所の環境整備を進めていく。

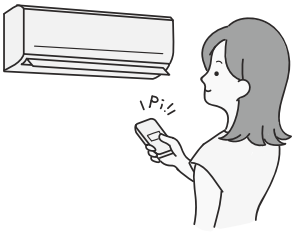
熱中症対策としてのエアコン購入助成を

質問 近年の異常気象の中で、エアコンの設置は当たり前になってきている。一般家庭にも所得制限なしで、エアコンを購入するための助成制度をつくっていく考えはないか伺う。

答弁 近年、気温が上昇する中で、熱中症対策はますます重要になっている。適切なエアコンの使用が、有効な対策の一つであることは認識している。エアコン購入に対する助成制度については、現在のところ実施予定はないが、他自治体の取組み状況を研究していきたいと考えている。

その他の質問事項

- ●子どもたちへの食の支援
- ●物価高対策
- ●島根原発問題





青雲クラブ
丸山　征司

住環境充実と移住婚の推進について

質問 災害対策、教育環境整備、子育て世代移住定住促進のため、市内全小・中学校体育館等へのエアコン新設について伺う。

答弁 全小中学校体育館への空調設備設置は、快適な教育環境確保及び避難所機能強化の観点からも、必要性は認識している。

災害対策の観点では、冷暖房が必要な時期に学校が避難所となる場合、冷暖房機器完備の教室等を優先利用することも検討している。

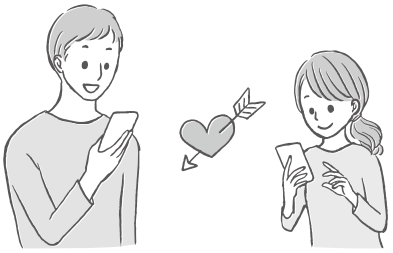
教育環境の観点では、小中学校適正配置を進める中で教室等の空調設備の更新も含め、優先すべき物から順次整備している。

体育館への設置は、交付金活用を視野に入れながら学校施設長寿命化計画に基づき、小中学校適正配置の進捗状況、学校設備の新設・更新の優先度、国の補助要件等を総合的に勘案し、整備手法を検討する。

質問 市外・県外からの移住婚をテーマとした婚活支援の取り組みについて伺う。

答弁 今年度、移住婚テーマのバスツアー婚活イベントを新規開催する。

市内在住在勤の男性と県外の女性を対象に、安来市とその周辺の観光地を1泊2日で巡り、様々な体験や交流を通じて、お互いの相性等を確認したうえで、最終的なマッチングを行う。



一般質問の一部を掲載しています

令和8年度島根県市議会議長会

議員研修会に14名が参加

日にち 令和8年7月28日（火）

場所 ビッグハート出雲（島根県出雲市）

講師 京都大学人文科学研究所准教授　藤原　辰史 氏

演題 『自治を考える―水、土、人をつなぐもの』



趣旨・内容

地方自治体では若者や女性に選ばれる地域づくりを進めるため、議会の政策形成機能やチェック機能を強化し、社会変革や意識改革を促進する役割が求められています。

水・土・人にまつわる具体例をとおして、島根県が誇る食、文化、歴史などの地域資源を再認識し、地方自治の未来について理解を深めることで、議員としての資質向上を図り、地域の持続的発展に貢献するための知識と意識を共有する場となりました。

議員からの感想

安来市にも豊かな自然や財産が多くあるが、自治を守るのは自分たちであることを再認識した。





自立・共助のなかで地域を発展させていかなければならないと感じた。

やすぎ未来トーク 開催希望者募集!!

「やすぎ未来トーク」は希望するテーマを市民の皆さんに選択していただき、そのテーマを中心に自由に意見交換をする中で相互に地域課題及び情報の共有を図り、それを議会活動全般に反映させることを目的としています。

市民の皆様からの申し込みをお待ちしております。

【申込方法】 所定の申込用紙に記載のうえ、議会事務局へ郵送、ファックス、Eメール、または直接持参による申し込み。

【申込期限】 原則、実施希望日の1ヶ月前までに議会事務局へ申し込んでください。

申　込　先	安来市議会事務局　　Tel:0854−23−3125
郵　　送	〒692-8686　安来市安来町878番地2（議会事務局宛）
ファックス	Fax:0854−23−3153（議会事務局宛）
E メ ー ル	アドレス:gikai@city.yasugi.shimane.jp

※詳細はホームページをご覧ください。

https://www.city.yasugi.shimane.jp/gikai/gikainitsuite/yasugimiraitalk.html

二次元コードをスマートフォン等で読み取ると、詳細について確認できます→

令和8年度 委員会視察報告

総務企画委員会



令和8年7月6日～8日
- ●三豊市第3次観光基本計画について（香川県三豊市）
- ●スマートシティーたかまつ推進事業について（香川県高松市）
- ●LABV プロジェクトについて（山口県山陽小野田市）

地域振興委員会



令和8年7月16日～17日
- ●黒豆サポーター職員制度について（兵庫県丹波篠山市）
- ●鳥獣害対策について（兵庫県丹波篠山市）
- ●シルバー人材センターへの道路保守管理委託について（三重県いなべ市）

文教福祉委員会



令和8年7月7日～9日
- ●「認知症フレンドリーシティ・プロジェクト」の取り組み内容等について（福岡県福岡市）
- ●唐津市における学校再編計画について（佐賀県唐津市）
- ●五島市で行われている医療MaaSについて（長崎県五島市）

原子力発電・エネルギー関係特別委員会



令和8年8月3日～5日
- ●大崎クールジェンプロジェクトについて（広島県豊田郡大崎上島町）
- ●原子力災害避難計画について（愛媛県八幡浜市）
- ●伊方原子力発電所について（愛媛県西宇和郡伊方町）
- ●次世代エネルギーパーク：えひめ・エコハウス、まつやまRe・再来館について（愛媛県松山市）

編集後記

今年1月に安来市内を震源とする島根県東部地震が発生して以降、震度7を観測した熊本地震など、全国各地で大きな地震が発生しています。また、台風や大雨による浸水や土砂災害なども多く発生し、気候変動の影響で世界的にも甚大な自然災害が増加していると指摘されています。

自然災害が、いつ発生するかは誰にもわかりませんが、適切な備えによって被害を最小限に抑えることは可能です。懐中電灯や救急用品の管理や家具の固定などの耐震対策はもとより、ご家族の皆さんと「やすぎ市民防災マップ」などで、避難場所や避難経路を事前に確認しておくことは、いざという時の有効な対策になると考えます。9月は防災月間でしたが、改めて災害から命と財産を守る準備を日頃から整えましょう。

広報広聴委員会委員　小松原直樹

議会傍聴または、議会中継をご覧ください（やすぎどじょっこテレビで放送します）